

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神保健福祉に関する制度とサービス I		必修 (精) 選択 (社.心)	2	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
本 敏己	講師控室	kyoumu	授業終了後に質問等受付		
授業の目的・概要	<p><目的> 精神に障がいを持ち、生活に困難を抱える人々が、法制度の変遷の中、どのような生活を強いられ現在に至り、これからの法制度が生活に与える影響を理解するとともに、生活者としての精神障がい者がよりよく生きる為の支援に必要な施策、制度とは何かを考察、理解する。その上で、精神保健福祉士として援助に必要な知識を習得することを目的とする。</p> <p><概要> 講義では教科書の流れに沿って、実際に制度がどのように活用されているのか、現場での実践例に基づき説明する。適宜、資料を用いて、理解を深めることができるようにする。口頭での説明と板書を中心にすすめる。</p>				
学習上の助言	講義の前後に教科書を読むことで理解が深まる。質問も授業中およびオフィスアワーにて受け付けているので、積極的に質問して、学びを深化させることが求められる。				
教科書	精神保健福祉に関する制度とサービス (新・精神保健福祉士養成講座第6巻) /編：日本精神保健福祉士養成校協会/中央法規出版				
参考書	特に指定しません				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	現行精神保健福祉法に至る経過とその意義を理解し説明することができる。		HSU(2)、WP(5)		
②	精神障がい者の生活支援の視点から社会保障制度等の目的を説明することができる。		HSU(2)、WP(5)		
③	精神保健福祉士として、これらの制度を実際の相談援助活動において活用できる。		WP(1)、(5)		
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	事前事後学習内容・必要時間 (時間)		
1	オリエンテーション、精神障害者の相談援助活動と精神保健福祉法について理解する。	講義	教科書により次回の講義範囲を予習する。		4
2	相談援助活動と制度・サービスの相互作用を理解する。	講義	教科書、配布資料による復習と次回講義範囲を予習する。		4
3	精神病患者監護法から精神保健福祉法成立までの経緯を理解する。①	講義	教科書、配布資料による復習と次回講義範囲を予習する。		4
4	精神病患者監護法から精神保健福祉法成立までの経緯を理解する。②	講義	教科書、配布資料による復習と次回講義範囲を予習する。		4
5	精神保健法から精神保健福祉法成立とその意義およびその後の変化を理解する。①	講義	教科書、配布資料による復習と次回講義範囲を予習する。		4
6	精神保健法から精神保健福祉法成立とその意義およびその後の変化を理解する。②	講義	教科書、配布資料による復習と次回講義範囲を予習する。		4
7	障害者自立支援法 (障害者総合支援法) 成立による変化を理解する。	講義	教科書、配布資料による復習と次回講義範囲を予習する。		4
8	精神保健福祉法の構成を理解する。①	講義	教科書、配布資料による復習と次回講義範囲を予習する。		4
9	精神保健福祉法の構成を理解する。②	講義	教科書、配布資料による復習と次回講義範囲を予習する。		4
10	精神保健福祉法における精神保健福祉士の役割を理解する。①	講義	教科書、配布資料による復習と次回講義範囲を予習する。		4
11	精神保健福祉法における精神保健福祉士の役割を理解する。②	講義	教科書、配布資料による復習と次回講義範囲を予習する。		4
12	障害者基本法と精神障害者施策とのかかわりを理解する。	講義	教科書、配布資料による復習と次回講義範囲を予習する。		4
13	障害者総合支援法における福祉サービスの実際を理解する。①	講義	教科書、配布資料による復習と次回講義範囲を予習する。		4
14	障害者総合支援法における福祉サービスの実際を理解する。②	講義	教科書、配布資料による復習と次回講義範囲を予習する。		4
15	精神障害者に関連する福祉施策、事業、社会保障制度を理解する。	講義	教科書、配布資料による復習。		4
試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照。				

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		30	30	0	0	40	100
総合力指標	知識・技術力	30	0	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	10	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	10	20
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	定期試験期間に記述式のテストを実施する。基本的な知識を問うので、教科書を読み込み、授業で述べるポイントの理解が必要である。特別な参考書などは必要ない。				試験回答の添削・返却・解説
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	毎回の講義でリアクションペーパーを活用し、講義内容の理解度について評価を行う。				講義において講評を述べるとともに、質問への回答を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業態度、意欲、表現力、協調性などを、毎回の授業で個々に評価する。				最終講義において、評価内容を伝える。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>教員の実務経験：資格 精神保健福祉士、介護支援専門員 実務経験 1990 年より精神科病院 PSW、介護老人保健施設 MSW、居宅介護支援事業所介護支援専門員などを務める。現在、介護老人福祉施設に生活相談員として勤務。管理業務も兼任して業務にあっている。 実践的授業の内容：教科書に記載されている基礎事項を踏まえたうえで、教員の実践事例を提示し、法律や制度活用の実際と活用時におけるソーシャルワーカーの視点を学習する。広範囲にわたる法制度の具体的な運用について、これまでの実践に基づき、具体的に説明することで、法制度が身近なものとして理解できるよう授業をすすめます。</p> <p>精神保健福祉士受験資格取得希望者は必ず履修すること。</p> <p>授業中の携帯電話、スマートフォン等電子機器類の使用は禁止します。注意しても守れない学生は退室してもらいます。</p> <p>※対面授業であるため大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は授業への参加を認めません。 ※新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によってシラバスの変更が行われる可能性があります。</p>							